

## 文化祭で「類型アロマセラピー」始動!!



2026年 5月11日(月) 撮影

来たる6月13日(土)に看護医療類型の有志生徒達によるアロマセラピーを実施する。看護医療類型の授業でお世話になっているアロマナースの市川先生監修のもと、自分達でジェルを選び、手に塗って香りを体感していただき、オイルにてマッサージを実施。これまで2回の授業でアロマの効能や医療や福祉における活躍の場面、アロマに関する注意点を学び、振り返り課題によって自身の考察も深める取り組みを行った。2年生が中心となり、1年生や3年生も含めて総勢20名以上で、「看護医療・健康類型」として成功を目指す。アロマは直接治療を行うものではなく、「安心して過ごせる環境作り」や「前向きに治療へ向かえる手助け」といった「心のケア」として注目されている。実際に人と触れ合い、他者へのケアを学びつつ、学年を超えた「縦のつながり」を深める機会としたい。たくさんの来場をお待ちしています。

## 地域との連携。ボランティア実践 担当者のつぶやき

3年生の看護医療の授業でボランティアについて学びつつ実際に実践する取り組みを行っている。ボランティアの前にまず障害者施設の担当者からお話を伺った。**障がいは本人の問題ではなく、社会や環境で生まれることを学んだ。**そして特別扱いをするのではなく、人として対等に関わることや、当事者の声を大切にすることを学んだ。さらに市と提携する「要支援者見守り・支え合い事業」では、民生委員の方々と共に訪問活動を行うため、尼崎市長からの委嘱式に参加した。高齢者や障がい者など要支援者へのケアを行おうとしている自分達の活動が地域に支えられ、期待されている取り組みであることを実感した。また民生委員が実際に相談相手となり、見守りや訪問を通し、必要な支援に繋いでいることを学んだ。さらに民生委員との研修会では、必ず個人情報を守ること、常に相手を尊重すること、押し付けずに信頼関係を築くことの大切さと難しさを考えることができた。5月8日からは、8つの施設で実際に生徒達がボランティアに参加している。**「知識としての学びを、実践することで実践知に変える営み」**そして、実際に地域とつながることで「社会参画」を行う。この活動の様子や具体的な学びについて、次回報告したい。

### 【誰かのおかげであなたのおかげ。持ちつ持たれつ】

「自分の人生」だから後悔のないように「自分らしく生きよう」と色々な媒体で言われている。ACPなどはまさに「自分らしい生き方」を考えていく一つの事例。一方で**「自分の人生は自分だけの人生ではない」**と思う。生徒のボランティアの感想で「初対面の方に頑張ってと応援してもらえた。ボランティアに行ったら励まされた。」と書いている人がいた。**見えない形の人の支え**がある。学校も同じように思う。学校は「生徒達のおかげ」で成立する。中心は大人ではない。一方、「先生のおかげ」で学校は機能する。また学校は「地域と保護者のおかげ」で活動できる。地域も、病院も、福祉施設も同じと思う。

### 【誰かのおかげであなたのおかげ。持ちつ持たれつ】

当然ながら自分も「見えない誰かのおかげ」で成立し、あなたも「見えない誰か」を支える役割を担っている。だから**「自分の人生であり、自分だけの人生ではない。」**高校生活はまさに「あなたと誰かの人生の縮図」と思う。中間考査を終え、類型の活動も小田校祭も本格化する。それぞれの場であなたらしさを持ち、活躍してほしい!